

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度								
事務事業名	千代田中地区公民館講座事業（政策）								
事業類型	イベント・行事・各種講座教室等								
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	社会教育法・市公民館設置及び管理等に 関する条例及び施行規則
			10	04	02	18			
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 市民活動の支援						市民協働	行政の関与	
	1 コミュニティづくり						担当課係等	千代田中地区公民館	
③コミュニティ活動の推進						学習担当			
事業期間	継続（年度～）								

現状把握の部（D0）

【目的】 市民の多種多様なニーズに応じた講座を開講し、学びたい、楽しみたい、発表したいなどの自己実現の場を提供するとともに、学ぶことをとおして、生きがいがづくり、仲間づくりなど、その後の人生が心豊かで充実したものになるよう支援していく。	【関連事業】 霞ヶ浦中・下稲吉中地区公民館講座事業、文化芸術振興事業、生涯学習市民協働事業
【期待される効果】 生きがいがづくり、仲間づくり、健康づくり、健康寿命の延伸、青少年の健全育成、地域コミュニティの拡充など	【対象者】 全市民（講座受講者）
【全体概要】 千代田中地区公民館講座の企画及び開講	【特記事項】 文化協会加盟団体数及び加盟者数が減少していることから、当初からサークル化を目指した講座を中心に計画、実施していく。平成29年度からそれに関連する指標を追加。
【平成27年度 事業内容】 教育、学術及び文化に関する各種定期講座を実施する。また、終了した講座の活動内容や講座募集等について「ふれあい生涯学習フェア」の場で発表する。	【平成28年度 事業内容】 教育、学術及び文化に関する各種定期講座を実施する。また、終了した講座の活動内容や講座募集等について「ふれあい生涯学習フェア」の場で発表する。
【平成29年度 事業内容】 市民のニーズに応じた各種講座を開講する。講座終了後はその活動の成果を「ふれあい生涯学習フェア」など、発表の場を設けるとともに、講座受講生による同好会化、サークル化の支援を行う。	

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	0	409	503
	歳入計（千円）	0	409	503
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	0	409	470
	11 需用費	0	0	33
	歳出計（千円）（A）	0	409	503
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	470
職員人工数	0.00	1.00	1.00	
職員人件費（B）	0	7,868	7,600	
総事業費（A）＋（B）	0	8,277	8,103	

■指標						
種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動 指標	講座の開設	講座	目標	0.00	14.00	12.00
	各種講座の開設数		実績	0.00	12.00	0.00
	当初からサークル化を目指した講座数	講座	目標	0.00	0.00	6.00
	※29年度からの新たな目標		実績	0.00	3.00	0.00
成果 指標	講座の年間受講率	%	目標	0.00	75.00	75.00
	各種講座の募集定員に対する受講者の割合		実績	0.00	84.40	0.00
	講座終了後サークル化した講座数	講座	目標	0.00	0.00	3.00
	※29年度からの新たな指標		実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画による
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 健康寿命の延伸や地域コミュニティの円滑化などに要する経費は、必要不可欠であると考えられ妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民アンケートの結果などにより、ニーズに応じた講座を開催することにより、より一層の成果向上が図られる可能性がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の生涯学習の基礎ともなっていることから、休廃止した場合には影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 生涯学習の基礎となる事業でもあり、学習の場として市民ニーズに合わせた活動に要する事業は、学習活動を支援するものであり、統廃合はできない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 公民館講座には、参加人数が減少している講座もあるが、人気のある講座は参加者が多く、市民のニーズに合った学習機会の提供に努めているので、有効性は十分あり削減の余地はない。休日・夜間・公民館外での事業に人員を要するため、人件費(人員)の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 女性の参加率が高い傾向にあるが、講座受講生は「マナビィかすみがうら」で募集し、誰でも参加することができる状態にある。また、参加者の材料費等は安価で適切な受益者負担であるため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	自主的な活動をする文化団体数や会員数が減少傾向にあるため、当初から文化団体やサークル化を目指した講座を中心に計画し、実施していく。
1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 生涯学習課長 中泉栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(見直し) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 文化協会加盟団体数、会員数が減少していることから、当初から講座終了サークル化を目指した講座を中心に計画、開講する。		
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 飯田泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(見直し) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 定期講座に限らず、体育、レクリエーションに関する事業を計画してみるのも良いのではないのでしょうか。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度									
事務事業名	下稲吉中地区公民館講座事業（政策）									
事業類型	イベント・行事・各種講座教室等									
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	社会教育法・公民館設置及び管理等に関する条例施行規則	
			10	04	02	19				
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象		
	(1) 市民活動の支援						市民協働	行政の関与		
	1 コミュニティづくり						担当課係等	千代田中地区公民館		
③コミュニティ活動の推進						学習担当				
事業期間	継続（年度～）									

現状把握の部（D0）

【目的】 市民の多種多様なニーズに応じた講座を開講し、学びたい、楽しみたい、発表したいなどの自己実現の場を提供するとともに、学ぶことをとおして、生きがいがづくり、仲間づくりなど、その後の人生が心豊かで充実したものになるよう支援していく。	【関連事業】 霞ヶ浦中・千代田中地区公民館講座事業、文化芸術振興事業、生涯学習市民協働事業	
【期待される効果】 生きがいがづくり、仲間づくり、健康づくり、健康寿命の延伸、青少年の健全育成、地域コミュニティの拡充など	【対象者】 全市民（講座受講者）	
【全体概要】 下稲吉中地区公民館講座の企画及び開講	【特記事項】 文化協会加盟団体数及び会員数が減少していることから、当初からサークル化を目指した講座を中心に計画、実施する。平成29年度からそれに関連する指標を追加。	
【平成27年度 事業内容】 教育、学術及び文化に関する各種定期講座を実施する。修了した講座の活動内容等を「ふれあい生涯学習フェア」などの場で発表する。最終的には文化団体や同好会、サークル化などを旨とする。	【平成28年度 事業内容】 教育、学術及び文化に関する各種定期講座を実施する。修了した講座の活動内容等を「ふれあい生涯学習フェア」などの場で発表する。最終的には文化団体や同好会、サークル化などを旨とする。	【平成29年度 事業内容】 市民のニーズに応じた各種講座を開講する。講座終了後はその活動の成果を「ふれあい生涯学習フェア」など、発表の場を設けるとともに、講座受講生による同好会化、サークル化の支援を行う。

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	0	589	583
	歳入計（千円）	0	589	583
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	0	496	550
	11 需用費	0	93	33
歳出計（千円）（A）	0	589	583	
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	641
職員人工数	0.00	0.75	1.00	
職員人件費（B）	0	5,901	7,600	
総事業費（A）＋（B）	0	6,490	8,183	

■指標						
種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動 指標	講座の開設	コマ→講座 (29年度)	目標	0.00	50.00	14.00
	講座の開設コマ数→ほかの地区公民館講座事業と統一させるため29年度から講座数に変更(前期、後期で同じ内容の講座を開講した場合は2講座と数える)		実績	0.00	65.00	0.00
	当初からサークル化を目指した講座数	講座	目標	0.00	0.00	6.00
	※29年度からの新たな目標		実績	0.00	3.00	0.00
成果 指標	講座の年間受講率	%	目標	0.00	75.00	75.00
	各種講座の募集定員に対する受講者の割合		実績	0.00	57.00	0.00
	講座終了後、サークル化した講座数	講座	目標	0.00	0.00	3.00
	※29年度からの新たな目標		実績	0.00	2.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 事業を実施することにより、市民の自立や生涯学習意欲の向上に寄与するため、結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 健康寿命の延伸や地域コミュニティの円滑化などに要する経費は、必要不可欠あると考えられ妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民アンケートの結果などにより、ニーズに応じた講座を開催することにより、より一層の成果向上が図られる可能性がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の生涯学習の基礎ともなっていることから、休廃止した場合には影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 生涯学習の基礎となる事業でもあり、学習の場として市民ニーズに合わせた活動に要する事業は、学習活動を支援するものであり、統廃合はできない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 公民館講座には、参加人数が減少している講座もあるが、人気のある講座は参加者が多く、市民のニーズに合った学習機会の提供に努めているので、有効性は十分あり削減の余地はない。休日・夜間・公民館外での事業に人員を要するため、人件費(人員)の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 女性の参加率が高い傾向にあるが、講座受講生は「マナビィかすみがうら」で募集し、誰でも参加することができる状態にある。また、参加者の材料費等は安価で適切な受益者負担であるため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	自主的な活動をする文化団体数や会員数が減少傾向にあるため、当初から文化団体やサークル化を目指した講座を中心に計画し、実施していく。
<p>1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 生涯学習課長 中泉栄一 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続(見直し) <input checked="" type="checkbox"/>現状維持</p> <p>改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 文化協会加盟団体、会員数が減少していることから、当初から講座終了後サークル化を目指した講座を中心に計画、開講する。</p>		
<p>2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 飯田泰寛 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続(見直し) <input checked="" type="checkbox"/>現状維持</p> <p>担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 定期講座に限らず、体育、レクリエーション事業への取り組みも検討してください。</p>		